

2026年度 市立函館高等学校 シラバス

教科	科目	単位数	年次・コース		教科担任		
芸術	美術専科	2	3年次		石川 潤		
使用教科書	なし		使用副教材	なし			
科目の目標				道徳教育のねらい			
美術系の進学に向けて必要となる資質や技術を身に付けるとともに、これまで学んできたことを振り返り、伸ばしていく。				芸術を愛好し、美を探究する過程で、自然への感謝と生物に対する尊敬の念を持ち、他を思いやる心を育てる。			
学習活動内容		育てたい6つの力(資質・能力)					
		1	2	3	4	5	6
		主体的学習	基礎力	思考・分析力	発信・表現力	自他認知・共同力	計画実行力
1	実技・進路指導	○	○	○	○	○	○
2	美術館鑑賞	○		○	○		
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
評価の観点	知識・技能	思考・判断・表現		主体的に取り組む態度			
	美術や美術文化を幅広く理解し、創造的な表現に必要な技能を身に付け、表現方法を工夫して表しているか	感性や想像力を働かせて主題を生成し、創造的な表現の構想を練っているか		美術の文化を理解し、意欲的・主体的に授業に取り組んでいるか			
評価の方法	次の資料をもとに観点別評価によって総合的に評価する。						
		授業での取組	作品	発表	鑑賞		
	関心・意欲・態度	○		◎	○		
	思考・判断	◎	◎	◎			
	技能・表現	○	◎	○			
知識・理解	◎	◎	○	◎			

美術専科 授業計画

授 業 計 画					実 施 状 況	
月 (時 数)	単元・考査等 (配当時数)	学習のねらい	学習内容 (配当時間)	単元 実施 時数	実施反省	
前 期	4月 実技指導(通年) 進路指導(通年)	・生徒それぞれの進路について 面談し、実技試験やその他の受 験に合わせた指導を行う。 ・作品制作 ・鉛筆デッサン ・木炭デッサン ・小論文 ・自己推薦書	・個々の進路に応じた作品制作やデッ サンや論文、面接の指導を通して自己 実現につなげる	68		
	8月 美術館鑑賞 (会期に合わせて挿入)	・本物の絵画や彫刻に触れ、そ のよさを知るとともに美術を愛 する心情を育てる	・函館美術館を訪問し、学芸員の方か らの解説を受け、作品を鑑賞する (2)	2		
後 期	10月 ～ 1月 実技指導(通年) 進路指導(通年)	・前期に学んできたことをより 高めていく	・個々の進路に応じたデッサンや論 文、面接の指導を通して自己実現につ なげる			